

ぎょうだ

# 自治連だより

～親しみやすい自治会・そしてもっと身近な自治会～

第92号

行田市自治会連合会  
広報部 会

編集・発行

## 共助としての自治会

行田市自治会連合会

会長 小池 利昌



自治会の第一の役割は人と人をつなぐ顔の見える関係を作る事です。

人と人がつながってれば、直接的な支援がなくても相手が困っているときに声をかけ相談に乗って必要な支援につなげることが出来ます。

自治会の中には、孤独死を防ぐ、地域の声掛け活動に力を入れていく所もあります。

自治会における、地域の高齢化も大きな課題です。日本人の平均寿命は、現在、女性が87歳、男性が81歳を超えており、女性の2人に1人は90歳まで生きるとされ、100歳以上の人口は8万人を超え、75歳以上の比率が65歳から74歳の人口を上回っております。高齢化率は3人に1人が高齢者という未来が到来します。そうになると、安心して生きられる老後環境も考えなくてはなりません。老後の不安は、お金だけではありません。住

まいや環境、介護の問題など様々な心配事が出てきます。高齢になり、一人暮らしで、近くに家族や友人もいない場合、頼る人も相談相手もなく、体力の低下で、庭木の手入れや蛍光灯の交換もままならない状況です。また、交通が不便で移動手段も限られる地域では、病院や日常の買い物もままならないほど不便な生活を強いられています。

一人暮らしの高齢者でも、安心して暮らせる人とのつながりや居場所づくり、高齢者見守り活動、生きがいや仕事づくりなど、地域で助け合う共助の仕組みづくりがますます求められることになると考えております。



## 行田市のまげびくつ自治会への期待



行田市長  
行田 邦子

自治会の皆様には、平素より、市政の推進に格別なるご理解とご協力を賜り、この場をお借りして心から厚く御礼申し上げます。

さて、約3年間にわたって私たちの生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の分類が、今年5月に第2類相当から第5類へと引き下げられ、徐々に日常生活を取り戻しつつあります。

7月には、4年ぶりとなった「市民祭・行田浮き城まつり」が盛大に開催されましたが、地域のお祭りなどの行事も少しずつ再開され、自治会活動もかつての日常を取り戻しつつあると伺っており、私もたいへん喜ばしく思っております。住民同士が交流を深め、お互いの顔が見える地域をつくることは、これからの人

口減少社会において重要であると認識しております。本市といたしましては、今後の人口減少の進行が、活発な自治会運営や地域活動に影響を与えることを懸念しております。若い世代が行田市から流出することを抑えるために、今こそ、未来に希望の持てる「新しい行田」の実現が必要です。

私は、「子育てをしやすい環境の実現」、「質の高い教育の充実」、「産業の振興と雇用の創出」、そして「交通インフラの整備」の四つの重点項目に取り組みすることで、新しい行田の好循環を実現し、人口減少に歯止めをかける持続可能なまちづくりを、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

そして、自治会が、持続可能なコミュニティの実現を担う中心的な存在として活躍するとともに、新しい時代を創造するためのパートナーとして歩みを共にしてくださることを期待しております。

結びになりますが、行田市自治会連合会及び自治会の益々のご発展と皆様のご健康を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

自治会連合会組織紹介 〈役員及び各部会員と取組みを紹介しします〉

会長 小池 利昌 (一本町)

顧問 阿久津彰男 (前連合会長)

副会長 河辺 孝幸 (第一斉条)

高鳥 和子 (小針)

羽鳥 嗣郎 (中里)

栗原 三郎 (第三門井)

総務部会 主な取組み

○単位自治会、連合会についての調査研究

○単位自治会の合併について

部会長 栗原 三郎 (第三門井)

副部会長 栗原 光夫 (本丸)

部会員 森田 敏一 (荒木上宿)

阿部 修 (須加第八区)

萩原 実 (富士山西)

須郷 稔 (下忍区)

森 安正 (下町)

鈴木 清司 (一佐間)

小林 訓安 (三持田大宮口)

山田 喜正 (第一谷郷区)

風間 孝夫 (富士見西部)

家中 浩 (酒卷上)

小関 忠司 (皿尾)

松井 晃 (関根)

柿沼 明 (南河原一区)

研修部会 主な取組み

○各種研修についての調査・実施

部会長 高鳥 和子 (小針)

副部会長 江原 史郎 (三持田東部)

部会員 安原 一夫 (矢場区)

芹澤 幹夫 (佐間神明)

川嶋 春俊 (二持田蔵場)

岩永 照夫 (第二谷郷新田)

尾上 龍夫 (富士見東部)

金子 正利 (門井)

小川勢津雄 (下須戸)

部会長 河辺 孝幸 (第一斉条)

副部会長 吉田 哲也 (新田)

部会員 海野 隆夫 (第二旭)

新井 教弘 (菅谷)

防災部会 主な取組み

○自主防災活動の促進

○防災訓練の効果的実施

○単位自主防災組織の防災資  
機材の充実

部会長 羽鳥 嗣郎 (中里)

副部会長 長岡 幸雄 (二佐間)

横田 範博 (三桜北部)

部会員 高橋 一久 (在家)

森 安正 (下町)

島田 清 (前谷)

小林 秀樹 (第二谷郷東第)

青池 英洋 (堀の内)

清水 守也 (荒木第九区)

栗原 基安 (須加第五区)

家中 浩 (酒卷上)

篠原 栄 (野中)

高野 和夫 (棚田町)

柴田 公司 (堤根区)

金子 隆行 (若小玉六本木)

令和5年度 事業計画 〈重点実施事項〉

- (1) 市民の防災意識を高めるために、みんなで考え創造する地区防災事業を実施する。
- (2) 敬老事業の実施を推進する。
- (3) 研修のあり方について検討する。

地区連合会会長紹介

忍地区 栗原 光夫 (本丸)

行田地区 小池 利昌 (一本町)

佐間地区 長岡 幸雄 (二佐間)

持田地区 江原 史郎 (三持田東部)

星河地区 河辺 孝幸 (第一斉条)

長野地区 横田 範博 (三桜北部)

荒木地区 森田 敏一 (荒木上宿)

須加地区 阿部 修 (須加第八区)

北河原地区 吉田 哲也 (新田)

埼玉地区 萩原 実 (富士山西)

星宮地区 羽鳥 嗣郎 (中里)

太井地区 栗原 三郎 (第三門井)

下忍地区 須郷 稔 (下忍区)

定期総会実施報告



6月3日(土)、教育文化センターみらいにおいて、令和5年度の定期総会を開催しました。当日は、130名を超える自治会長が出席し、全ての議案が承認されました。



自治功労者表彰

令和5年6月3日(土)に開催された定期総会において、自治会に対する功労顕著な方11名を表彰いたしました。また、自治会連合会の運営発展に尽力された方8名に感謝状を贈呈いたしました。

表彰状

感謝状進呈

◎自治会長・副会長・会計として

10年以上在職の方

- 福田 俊治(橋場)
- 川久保 勇(荒木第五区)

◎副会長として

10年以上在職の方

- 中田 幸吉(大町)
- 井田 清(二佐間)
- 植松 泰正(谷郷小橋団地)
- 萩 信男(富士見中央)
- 吉田 兼弘(富士見中央)
- 藤井 章(藤原町東部)

◎行田市自治会連合会の運営発展に尽力された方

発展に尽力された方

- 寺田 正彦(持田地区)
- 茂木 孝雄(持田地区)
- 羽鳥 富雄(荒木地区)
- 大和田展行(須加地区)
- 野島 仁(須加地区)
- 小林 紀之(北河原地区)
- 黒崎 富雄(太井地区)
- 松山 和夫(太井地区)

◎会計として

10年以上在職の方

- 野澤 稔(二桜)

◎副会長・会計として

10年以上在職の方

- 高橋 正和(栄町)
- 五十幡 隆(林区)



自治会に加入しましょう!

安全な地域づくり

防災訓練・防犯パトロールを通して「顔のみえる」つながりができ、いざという時の助けあいがスムーズになります。

地域と行政のつながり

市報などの市からの配布物は月2回、各自治会を通して地域の方に届けられています。

地域のふれあいを育む

祭りなどの行事を通して地域内の交流を深めることで、困った時に相談しやすい環境が出来ます。



行田市に転入された方や、外国の方に自治会加入の周知をする際にご活用ください。

Participating in the Neighborhood Association is a great opportunity to get to know your neighbors and will help you get used to life in Gyoda.



自治会加入パンフレットを作成しています

新任自治会長研修  
実施報告



6月24日(土)、商工センター401研修室において、新任自治会長研修が開催されました。  
当日は、各地区連合会長及び研修部会員に加え、54名の新任自治会長が出席しました。  
研修内容は、主に①自治会組織について②市の補助制度について③行田市における地域福祉推進に関する取り組みについて、でした。  
現役自治会長の事例説明として、研修部会員から会長としての活動や苦勞の共有もあり、自治会長としての活動を具体的にイメージすることのできた研修となりました。

新任自治会長所感

八幡町光風会

会長  
笠原 康博



本年4月より八幡町自治会長に就任した笠原です。八幡神社のお膝元とした自治会です。ただ世帯数も30未満であり年齢層も高く現役世帯が少なく活力が満ちあふれていないとは言えない現状です。前任のベテラン会長さんから業務を引き継ぎましたがわからないことが多く他の役員や近隣の自治会長様にご指導をいただいで何とか遂行しています。  
まず私が注意していることは自治会員の名前と顔を覚えることです。なかなか簡単にはいきませんが、会長になれば知っていて当然だと思えますので一歩ずつ進めていきたいと思います。  
今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

須加第五区自治会

会長  
栗原 基安



須加地区は利根川沿いであり、地域を12の区に分け、各々単位自治会長がおり、私は第5区の自治会長に就任しました。また、その12の区で須加地区連合会を組織しており、副会長(対外理事担当)を拝命しました。  
第5区自治会は、7班53世帯の加盟数ですが、役員任期が原則1年で班の輪番制をとっています。  
自治会活動(特に地区連合会)は、公民館・体育協会を始めとする各種団体との共同活動により、年間事業計画をこなしています。  
令和3年度をもって小学校が閉校、令和4年度をもって3組織あった長寿会全てが高齢化により運営が難しくなり休会となるなど、少子高齢化が顕著な環境下にあります。

三椏南部自治会

会長  
矢島 幸男



新型コロナウイルスがもたらした唯一の利点は、慣習・慣行の見直しの契機を与えたことであり、自問しながら行動し次年度役員への円滑な引継ぎを行いたいと思います。

令和5年4月より三椏南部自治会長に就任しました矢島です。就任後5か月が経過しましたががすべてのことが初めての経験で役員の皆様のご協力を頂きながら日々過ごしています。  
我が地区は商店街や大きな工場等もなく比較的閑静な住宅街です。昨年まで3年間はコロナ禍のため、自治会内の様々なイベントを中止せざるを得ませんでした。  
今年には様々なイベントが復活となつていくようです。我が自治会も皆様と相談しながら自治会員の健康を最優先に進めていきたいと思っています。  
最近感じていることは近隣の小学校の児童数の減少と同時に

我が地区内でも児童数が減少しています。今後は子供達や高齢者が楽しんで参加できるイベント等を考え、多くの皆様と一緒に参加できる自治会を目指して頑張っていきたいと思っています。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が今年の5月より2類から5類へと移行され、行田市の各自治会でも、色々な行事が再開され始めました。  
まだまだ、新型コロナウイルスが終息していない中での活動ということでもありますが、自治会会員の皆様におかれましては、各自で新型コロナウイルス感染症対策を心がけながら活動していただければ幸いです。

また、執筆を頂きました自治会長様におかれましては、ご協力ありがとうございました。ご報告  
副部会長  
吉田哲也

ぎょうだ自治連だよりの  
電子版はこちらから!

●自治会に関する情報を発信しています。

